

平成30年度 北海道トレセンU-11冬季交流大会（8人制） 競技規則（特別ルール）

ルールの基本的な考え方

- ① 審判1人制を採用し、選手のフェアプレー精神を養う。
- ② 審判員を信頼し、判定に対して不平不満を表さない。
- ③ 審判員の決定に従いつつ、ラインアウトについてはプレーヤーから申告する姿勢を養う。
- ④ 指導者や保護者など、大人のフェアプレー精神も養う。

審判員の試合運営上の留意点(共通理解)

- ① 1人審判制を採用する。(前後半で交替する。)
- ② フェアプレーの精神、良いマナーを養う目的から判定に対してや他の人に対する言動にも注意を払い、指導していく。

ルールについて（JFA 8人制競技規則との違い）

第 1 条 競技のフィールド

- ① 試合会場の違いから、2会場のコート幅の広さが異なる。
※今年度は北村土里夢38m×46m、三笠ドーム45m×54m
- ② ゴールは少年用ゴールを使用する。
- ③ ゴールエリアはなくする。(ゴールキックは可とする)
- ④ ペナルティエリアの縦：8 m ・ペナルティマーク：8 m
- ⑤ 天井やワイヤーなどに当たった場合は、相手チームのスローインとする。

第 2 条 ボール

- ① 屋外用4号球とする。

第 3 条 競技者の数

- ① ゴールキーパーを含め8人。
- ② 前半と後半で競技者を総入れ替えすることを原則とする。(GKも含め)
- ③ 選手1人につき、予選リーグは14分、順位リーグは11分以上の出場は認めない。
- ④ 交代は自由な交代とし、交代できる人数は制限しない。
- ⑤ 予備審はおかないので、各ベンチからの交代はフットサル同様にインプレー中もOK。

第 4 条 競技者の用具

- ① 人工芝用イボイボシューズかフットサル用室内シューズとする。
※北村土里夢は屋外用スパイクの使用が可である

第 12 条 反則と不正行為

- ① 退場（R）は退場処分に加え、相手チームにPKを与える。(インプレー、アウトオブプレーに限らず)
 - ・退場の場合、当該チームは交代要員の中から競技者を補充できる。
 - ・再開はPKの結果による。(キックオフ、ゴールキック、コーナーキック、プレー続行)

第 13 条 フリーキック

- ① 相手競技者は6 m以上ボールから離れる。

第 16 条 ゴールキック

- ① ゴールクリアランスではなく、ゴールキックを行う。
- ② 転がっているボールはキックを行ってよい。
- ③ ゴールキックの際、味方選手は、ペナルティエリアの中でパスを受けてもよい。

第 17 条 コーナーキック

- ① ボールがインプレーになるまで相手競技者は6 m以上はなれる。